

2021/5/27 春季クラスマッチ開会挨拶

おはようございます。

春季クラスマッチの開催にあたって、校長よりお話しをしたいと思います。

まずは、クラスマッチを開催できることをうれしく思います。

皆さんにも事前にお知らせしたとおり、この地域の新型コロナウイルスの感染状況が現在のレベル4より悪化してレベル5になったとしたならば、延期を予定していました。また、当然ですが校内に感染の可能性が高い生徒が出た場合も同じです。クラスマッチができることを「運が良かった。」と片づけてはいけないと思います。少なくとも校内での感染予防の取組が功を奏した。皆の協力でクラスマッチが開くことが出来ると考えましょう。コロナ禍にあっては、地道な積み重ねが実を結ぶことを、皆さんは実証してくれたことを大変うれしく思います。

ここで気を付けたいのは、このクラスマッチが感染クラスターのきっかけにならないようにすることです。特に間近にインターハイ県予選を控えている選手が本校には多数おります。

感染クラスターが発生すれば、県大会には出場できなくなります。どうか、このことを一人一人が自覚して体育委員会からの注意事項を守って、感染クラスターを発生させないよう注意をお願いします。

結びに、クラスマッチでクラスが勝利を目指して団結して、「やっぱり人って面白いな。」と思えるそんな一日になることを期待して、開会の挨拶とします。

2021/5/27 春季クラスマッチ講評

皆さんお疲れさまでした。

特に体育委員・生徒会執行部の皆さん、ご指導いただいた顧問の先生方にお礼を申し上げます。

先ほど成績発表がありました。1年1組・2組、2年1組、3年6組の皆さん総合優勝おめでとうございます。是非、秋のクラスマッチでも連覇できるようより一層クラスの団結を高めてください。残念ながらのクラスの皆さん、まだ秋のクラスマッチがあります。特に3年生は秋に勝てば、それで終わりです。つまり永遠の優勝です。簡単に言えば「勝ち逃げ」となります。頑張りましょう！

最後にこのクラスマッチについて、ちょっとしたエピソードがありますので紹介します。

それは、バスケットを感染対策のため実施種目から外したことに関して、たった一人で校長室に乗り込んできた男子生徒がいたことです。彼は、穏やかにスマホに主張をまとめ、それを見ながら私に説明してくれました。その内容としては、いかに多くの生徒がクラスマッチでバスケットを楽しみにしているかという内容でした。結果として、彼の主張を取り入れることはできませんでしたが、この行動は尊敬に値するなと私は思いました。何よりうれしいのは、陰で文句を垂れ流すのではなく、誠実に意見を主張するという行動です。文句はその場は感情のはけ口で多少すっきりしますが、結局は自分の心にはマイナスにしかありません。意見は例え主張が通らなくても、主張できたという爽快感と次の行動に向かうエネルギーを与えてくれると思います。この志学館高校には、こんな勇気ある生徒がいることを知ってもらいたくてお話しをさせていただきました。

結びに、朝もお話ししましたが、今後の体調変化に気を付けてください。健康チェックカードに該当することがありましたら、学校に連絡して登校を見合わせてください。感染が無いことを心から祈っております。以上で講評を終わります。